



私がこの課題の  
代表者です

支援メニューはこちらを Click!

課題番号・課題内容

C6-1 生体高分子立体構造モデリング など

国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター（研究チーム長）

とみい けんたろう  
**富井 健太郎** 先生  
Kentaro Tomii

京都大学大学院理学研究科修士・博士(理学)。生物分子工学研究所、UC Berkeley を経て産総研入所、現在に至る。計算構造生物学、配列情報解析分野の研究に取り組んできました。現在は AI の開発に加え活用・連携へも注力しています。

### 今まで主に取り組んできた研究

- ・ゲノム情報をはじめとする多様で膨大な生命情報に関するデータから知識発見を行うためのバイオインフォマティクス技術の開発
- ・開発技術を利用した生体分子の構造・機能解析や創薬研究などへの応用

### 現在の取り組み、特に関心のある分野・研究

生体高分子立体構造モデリング、タンパク質と他の分子との相互作用、生体分子の配列情報に基づく各種解析、インシリコスクリーニング支援

### BINDSで支援してみたいこと、ユーザー(申請者)への要望

既に経験のある分野での支援はもちろん、われわれにとって新たな扉を開く契機となるかもしれない、未経験の分野での研究支援にも興味があります。

### 10年後の生命科学・創薬研究の世界への期待・想像 など

学術的には膨大な生体分子情報の統合・標準化が進むことでより効率的に開発が加速することを期待します。より広範には、従来の枠組みを超えた有益な情報が得られるようになっていないかと期待します。



眼下に広がる抜群の景色をバックに。  
University of Californiaのスウェットが  
お似合いの富井先生